

# がんばりました！スポ少豊柔道教室

第42回福井県少年団柔道大会 兼  
第43回全国少年柔道大会県予選会

日時 令和5年3月19日(日)

場所 敦賀市武道館

結果 第3位 おめでとうございます！



氏名  
吉田 龍臣  
佐藤 琉希  
佐藤 琉空  
笠島 昂樹  
白崎 太雅  
藤本 聡士  
和田 一紗  
吉田 翔臣  
(敬称略)



## 鯖江西地域包括支援センターの紹介

- ①高齢者の総合相談
- ②高齢者の権利を守ります
- ③総合事業・要支援1・2の方のケアプランを作成します
- ④介護予防・講座の開催
- ⑤地域のネットワークの推進

高齢者に関することは、鯖江西包括支援センター

(☎53-2776)にご相談ください。



24時間

いつでも対応

## かみおか園地

入場無料

## ピクニックコンサートのお知らせ

日時:  
5月4日(木・祝)

場所:  
かみおか園地  
(鯖江青年の家下東側)

雨天時は豊公民館内で開催  
する場合があります。

主催:豊地区区長会

10:30~10:50

鯖江高校吹奏楽部  
金管アンサンブル

11:00~11:45

奥山 泰三氏 による  
トランペット独奏

伴奏:藤本 明美氏

※詳しくは、4月上旬に全戸配布予定のチラシをご覧ください。

## 4月行事予定表

日	曜日	行事名
1	土	交通安全協会総会 スポーツ協会理事会・総会
2	日	休館日
3	月	
4	火	
5	水	西部民児協豊支部定例会 区長会三役会・区長会
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	休館日(福井県知事・県議会議員選挙)
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	ハーフバースデイ
14	金	
15	土	婦人福祉協議会総会 日赤奉仕団総会 更生保護女性会総会
16	日	休館日
17	月	町内公民館長会 豊の宝を見つけよう応援団
18	火	
19	水	
20	木	子育て支援ネットワーク委員会
21	金	豊まちづくり推進協議会 総会
22	土	
23	日	花いっぱい運動 春の種まき(青年の家)
24	月	
25	火	休館日
26	水	
27	木	ゆたかっこ広場(子育て支援)
28	金	
29	土	休館日(昭和の日)
30	日	

※都合により変更する場合があります。  
ご了承下さい。



### 春の種まきにご協力ください

皆様のご協力をお願いいたします。

日時 4月23日(日)  
場所 鯖江青年の家 温室

※時間等詳細につきましては、後日各町内  
公民館長さんを通じて連絡いたします。

令和5年 4月号

# ゆたか



豊公民館 令和5年3月24日 発行

住所:〒916-0073 鯖江市下野田町26-8-1

電話:0778-62-1011 FAX:0778-62-3018

メール:SC-CC-Yutaka@city.sabae.lg.jp

HP:https://www.city.sabae.fukui.jp/kosodate\_kyoiku/shogaigakushu/yutakakominkan/index.html



メールアドレス

豊地区の世帯数及び人口(令和5年3月1日現在)

世帯数:1,705戸(前月比3世帯増)

人口:4,652人(前月比増減なし)



豊公民館 HP

## 豊地区文化講演会 開催

2月21日(火)豊公民館中ホールで文化講演会が開催されました。豊富な行政経験から素晴らしい市政推進で、今日の市政発展に寄与された前市長である牧野百男氏を講師にお招きし、今ふるさと鯖江を想うお話を伺いました。

三床山登山道や石生谷の桜、花と緑のまちづくり、豊むかしむかしによる人づくり等々。豊地区に面々と続いている宝をあげ、築50年の鯖江青年の家を擁する里山の立地条件を活かして豊の宝の肉付けを図っていくよう、牧野氏から豊地区へご提案いただきました。参加者は、(1)独自性を出していく(2)ものづくりからことづくりへ(3)文化の蓄積をとという三つの視点のご助言をもとに、「持続可能な豊のまち」づくりに皆で取り組んでいこうと気持ちを新たにしていました。



主催:豊の宝を見つけよう応援団  
共催:豊地区まちづくり推進協議会・豊公民館

## 社会教育研究集会在3年ぶりに開催

令和4年度 鯖江市教育委員会感謝状受賞

社会教育団体の部 豊婦人福祉協議会

2月25日(土)文化センター講堂にて行われた社会教育研究集会で、鯖江市教育委員会感謝状授与式が行われました。

社会教育団体の部として豊地区からは、豊婦人福祉協議会が受賞され、代表の徳橋利子さんが壇上に上がり、表彰状を受け取られました。おめでとうございます。

研究集会では鯖江・河和田公民館の活動実践発表や講演会が行われ、各地区公民館の活動パネルも展示されました。展示した豊地区のパネルは豊公民館入口に掲示してありますので、来館の際にはぜひご覧ください。



## ふるさと環境委員会 花づくり講習会

2月26日(日)ふるさと環境委員会主催で「花づくり講習会」を開催しました。町内公民館長さんをはじめ、町内花壇を管理する方を中心に参加していただきました。講師は小林農園の小林鈴子氏にお願いしました。

まず、なんとといっても植物には土づくりが大切であるということでした。また、昨今の異常気象の下では従来きれいに咲いていた花も、同じように咲かないこと、それを踏まえ、その年の天候を見ながら水やりの回数や肥料をあげるタイミングを見計らうことが大事だということです。

また、今年の春の種まきには、どの花がいいのかということも話し合われました。花苗だけでなく、管理しやすいリーフも取り入れようということで、今年はシロタエギクを花壇に取り入れることになりました。

最後に参加者の皆さんに、プリムラの花鉢を渡しました。お花好きな方ばかりなので、皆さん喜んでいらっしゃいました。公民館の花壇にも植えました！



## 安全防災委員会 備蓄用防災食を配布

安全防災委員会では、豊地区の町内公民館へ備蓄用防災食を配布することになりました。いざというときのための備蓄ではありますが、期限が来る前に町内の防災訓練時に使っていただき、また新しく補充していくような形にしてもらえればということです。

順次、配布予定ですのでよろしくお願いいたします。



## お花見は「石生谷町千本桜」がおススメ

日増しに春めいてきましたが、4月に入ると花見シーズンとなります。豊地区には桜の名所が石生谷町にあります。石生谷町の櫻十六会が中心に植樹されてその数、実に1,500本以上です。今では見事なものとなっています。

ここ14年間、豊小学校6年生児童が毎年3月の卒業にあわせて、卒業記念として植樹してきました。

場所は石生谷トンネル鯖江市側の三床山登山道登り口周辺です。三床山登山と合わせて、楽しまれてはいかがでしょうか？

自然を守り、  
自然を活かし、  
そして自然を愉しもう  
…桜を見る会キャッチフレーズ…



## 豊地区スポーツ協会 ショートテニス・ラージボール大会

3月4日(日)豊地区スポーツ協会主催で、ショートテニス・ラージボール大会が豊公民館で行われました。

ショートテニスでは小学生や中学生の親子ペアが18名、ラージボールでは年配の方々19名参加され、いろんな世代の方がスポーツを楽しんでいました。

結果は以下の通りです。おめでとうございます！

### ショートテニス大会

優勝 山内啓嗣・吉村秀和 ペア

### ラージボール大会

シングルス優勝 猪子 正昭氏

ダブルス 優勝 毛利田東・森松マスミ ペア



## もうすぐ1年生

3月4日(土)4月に豊小学校へ入学する1年生とその保護者を招待して、交流会を行いました。16組の親子32名が参加しました。一昨年、昨年と中止になった事業ですが、今年は開催することができました。

まず、豊駐在官豊浦氏に交通安全や防犯の話をしていただき、登下校時の注意などを聞きました。その後、親子でバルーンアートを楽しみました。風船で剣やお花、帽子を作り、お祝いのお菓子やお花と一緒に持ち帰りました。

4月に元気に登校するみんなの姿を見るのが楽しみです！



## 主催：豊地区青少年育成協議会

## 豊小学校6年生卒業記念品贈呈

3月9日(木)豊小学校6年生児童に豊地区青少年育成協議会より卒業記念品の辞典セットを贈呈しました。当日仕事で出席できなかった西野会長に代わり橋本公民館長が贈呈しました。

3月15日(水)に卒業された豊小学校6年生の皆さんの新しい門出をお祝いし、皆さんの健康と活躍を心より祈っています！



## 公民館学級 手芸講座「パンケース&ポーチ作り」



2月22日(水)・3月1日(水)の2日かけて、沢崎ミシンの沢崎友美氏に指導して頂き、パンケースとポーチを作りました。

今回はファスナーのつけ方を中心に習いました。今まで自己流でつけていたファスナーも、教えていただくことできれいな仕上がりになりました。好きな柄の生地を選んで、参加者同士でわからないところを聞き合いながら、和気あいあいと楽しく作ることができました。残った生地を使って他の物を作ったり、たくさん作って家族や友達にプレゼントされたりと、楽しみ方もそれぞれです。

## 女性協議会共催事業 防災講演会「避難所でできる女性防災」

3月3日(金)立待地区防災協議会会長の藤田裕之氏を講師に招き、防災講演会を開催しました。今回の講演会は「女性としてできる地域の防災活動」に焦点を当てて話していただきました。

言葉にしてみると、難しいことが多く感じますが、**防災に関する場に女性がいるということが大切**です。少しずつ地域の防災を知ることから始めてみましょう！ということでした。

